



最近、毎月のように中央公民館ホールロビーでコンサートを行っている「文化プロデュースSEINO」。その代表を務め、自らもメゾ・ソプラノ歌手である石田香里さん（六之井）にインタビューです。



1. このような活動を始めようとしたきっかけは？

平成21年度に町で実施した、文化庁補助事業「町を元気にする文化プロデューサー養成講座」を受講した事がきっかけです。ここで仲間と出会い、皆の「文化の力でまちを元気にしたい」という思いで団体を発足しました。

2. 活動を始めるにあたって、不安はありましたか？

もちろんありました。講座は受けたものの、いざ実践となると何をしたいのか戸惑うことばかり。でも、皆で一つずつ話し合っていくうちに、様々なアイデアが出



てきて、このメンバーなら頑張れる、という気持ちになりました。

3. 今まで活動を続けてきて、どんな苦労がありましたか？また、嬉しかったことは？

資金0円からロビーでコンサートを、と始め、アーティストのボランティア出演と来場者からの募金をたよりに、ほぼ毎月続けることができました。「文化とは」とか「高い志とは」など、皆で熱く議論しながら続けてきたこと全てが苦労であり、その苦労が成果として実ることが喜びです。特に、来場者や出演者が、笑顔でお帰りになる姿を見た時、それが何より嬉しいですね。

4. これからどのようなことを目指していきますか？

町民自らがその望む文化を考え、発信し、そして享受できるようになればいいな、と思っています。不況で人々の心がすさむ現代こそ、笑顔と感動を生む「文化」を大切に、人と人との繋がりを失わない、心豊かな地域社会を育てていきたいですね。

また、一緒に文化事業を創り上げていく仲間を募集中です。気軽に声をかけて下さい。
(野網義一)

神戸町・池田町議会議員合同研修会



11月19日、神戸町役場で両町議員合同研修会を開催した。講師に岐阜国道事務所長 沓掛敏夫氏を招き、「広域圏域のまちづくりにおける道路の役割」について話を聞いた。道路建設により、変化する人と物の流れが更なる交流の促進を図り、地域づくりの足がかりになるという内容であった。

岐阜関ヶ原線の整備や東海環状自動車道の西回りルートが延長されるが、観光地へのアクセスの向上、物流の所要時間短縮、緊急医療ネットワークの強化など期待される。またこの地域における経済効果についても知識を深めることが出来た。

編集後記

町長選挙が行われた。結果は岡崎氏の圧勝で3選。6年前、合併しないと池田町はすぐに破綻するといわれたが、貯金は増やし、借金は減らした。議会も定数減や会議出席に伴う費用弁償の廃止、経費節減に協力し町民のみなさんの要望実現に努力してきた。

国勢調査の人口が発表された。池田町は西濃地域では大垣市も人口減少する中で輪之内に次いで2番目の人口増加となった。議会も一丸となり引き続き町民のみなさんと共に少しでも住みやすいまちづくりに取り組みます。
(野網義一)